

8・6ヒロシマへ!

2017年7月10日
No.478

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信



国鉄千葉動力車労働組合 田中康宏委員長のアピール



動労千葉を代表して、この市東さんの畑を守るために共に闘う決意を述べたいと思います。さきほど、ここに来る前に、市東さんの所に寄りまして、お祭りの準備がされているところを見てきたんですけれ

ども、その雰囲気を見てですね、今日は三里塚闘争の何か新しい出発点が始まるんだなあと、そんな気持ちでここに参加させてもらっています。この市東さんの畑にあってですね、やっぱりこの畑を絶対に取らせてはならないという決意を新たにしました。

請求異議審の裁判が、いよいよこれから本番になります。この夏ここに集まった事、僕らは本当に重要な意味があると思います。それと、伊藤さんからもありましたが、いよいよ地元では三里塚と芝山の反対同盟が横芝まで拡大して、本当の意味で新しい三里塚闘争が始まらんとしています。

第三滑走路建設をめぐる住民の怒りの爆発です。その前段では、安倍政権が進めていたような選択と集中なるもので、地域が第三滑走路以前にもうめちゃくちゃに破壊されていたという現実があります。次から次へと小学校、中学校が撤退し、住むことがで

きないような現実。それに加えて第三滑走路、騒音とこの地獄のような現実。つまりこれは安倍政権が進めている縮図ですね。ここで三里塚闘争が新しい一歩を始めて、安倍政権を撃っていくということが、この改憲と戦争にむけたガタガタの安倍政権を打ち倒していく。そういう重大な闘いになるんだらうと、僕は改めて決意をしています。その先頭に市東さんが立っています。安倍政権はボロボロに負けたがゆえに、この秋、臨時国会で改憲案なるものを提出をし、あくまでも進むって言っています。これから、2020年の新憲法施行と言われているこの一年一年が、この日本の社会の腐り果てたあり方を引っくり返していく、そういう目の色を変えて闘い抜かなきゃいけない決戦が始まろうとしている。その先頭に反対同盟が立っているんだなあ、そういうふうに思います。動労千葉も同じ決意で共に闘いたいと思います。ありがとうございました。

三里塚空港反対同盟 市東孝雄さんの発言



皆さんの力のお陰で、請求異議裁判という私も知

らず、弁護士さんたちもやったことがないというような話でした。

ですからそういう異議裁判を勝ち取ることができたということが、あまりにも空港会社のやり方の酷さ、その他の農地法裁判でもやっぱりその判決も結局の中身は、1億8千万払っているから判決はこれで良いんだと、だけどそのお金をべつにこっちが欲しいと言ったわけでもないし、向こうも供託も何も無いんですよ。ただ形だけ言って判決を下すと。そういうような国策裁判官ですよ。絶対そういうことは認めることはできません。

で、その裁判長が沖縄へ行って、また国策的な判決を出したと。本当に酷い話です。今回も沖縄へ行かしてもらいましたが、連続で8回目になります。そういう中で、沖縄と三里塚、結局基地と空港というのは形は違いますが、土地に対する思いは通じるものがあると思います。ですからそういう中で、私もこれからの異議裁判、とりわけ耕作権裁判は絶対に勝たなくては行けないと、勝てる裁判でもあると思います。

ですからこの裁判を通じてですね、自分のスタンスとしては天神峰で農業をやりながら、自然の中で過ごすというそれが一番なんです、ここにおよんではもうそういう事も言ってられないと。ですから一人でも多く来てもらって、旗開きでも言ったように草の一本でも取っていただいて、一緒に闘っていただきたいと思います。

今日はね、本当に樫の木祭り大成功だったと思います。これからも皆さんと共に一緒に闘いたいと思いますので、よろしくお願い致します。

市東さん宅での樫の木祭り、 全学連現地行動隊も活躍！



樫の木祭りでの団結ガンパロー



全学連現地行動隊も焼そばをつくる！